

# 9地区別注目選手紹介

全国9地区の激戦を勝ち抜いた24チームの中から、地区別に話題の選手をピックアップ。地元宮城・東北学院大学を筆頭に、準硬式王者を目指して戦う、選手たちの熱いブレイクに注目しよう。

がんばろう東北!復興・友情・野球の力

地元開催・東北宮城

## 東北学院大学

「優勝が決まった時、伏見善成監督から『ありがとう』と握手をされた喜びが忘れられません。3年間遠ざかっていたリーグ優勝、そして地元開催の選手権出場を決めた遠藤主将は、いま改めてその喜びを噛みしめる。今季は4本柱の一角として先発、中継ぎで2勝をマーク。55回目の春季リーグ優勝に貢献した。自身初となる全国大会に「挑戦者の気持ちを持って、1つ1つのアクトを確実に取って行きたい」と気持ちを引き締めている。選手権の回数と同じ、創部68年を迎える東北学院大は、全国優勝1回、準優勝7回、ベスト8以上18回を誇る東北地区の名門。2011年の東日本大震災では、多賀城市にあるグラウンドに津波が押し寄せ、ガレキや泥で施設は甚大な被害を受けた。震災後初の地元開催。当季中3で被災した遠藤主将は「当たり前の生活が大事だと痛感した。感謝の気持ちを込めて、名のある歴史を取り戻す大会にしたい」。開会式では選手宣誓を務める。



当たり前に野球ができる幸せ。感謝をこめて戦います

主将/遠藤 翼 (利府高出身)  
投手・3年・左投左打・179 cm、67kg



試合のカギを握る(左から)遠藤翼投手、5番打者・志賀大真外野手(1年)、4番打者・木村優作内野手(3年)

東北学院大学/創立1886年(明治19)、創部1948年(昭23)。全国制覇1回(1958年)、準優勝7回、三條秀夫部長、伏見善成監督、荒井晶コーチ。第59回大会(2007年・宮城開催)の準優勝を超えるべく「常勝・東北学院大」を掲げる。モットーは、学生野球の基本である野球を通じて人間形成、礼儀・挨拶。専用グラウンド(面積91m、中堅120m)を持ち部員29名で日々練習を行っている。今大会は3年ぶり68回目の出場。

### 前年優勝 ● 日本大学



杉浦 浩介 (掛川西出身)  
投手・3年・右投右打・180 cm、70 kg

昨年の選手権では5試合で57得点と圧倒的な打撃を魅せて優勝。近年、打撃の目玉と思われているが今年は違う。エース杉浦は1年春からワンノドに上がり、全国トヨタレベルの東都リーグで8勝という好成績を残した。狙うは連覇。

### 北海道 ● 札幌大学



木村 雄磨 (函館大有斗出身)  
外野手・4年・右投右打・171 cm、65 kg

1年春からレギュラーとして活躍。チームを2年連続の全国大会出場に導いた。主将としてリーグを牽引し、安定した守備力とシブアなバッティングでも勝利に貢献している。派手さはないが、堅実なプレーに注目してほしい。

### 関東 ● 中央大学



國廣 拓人 (木更津総合出身)  
外野手・4年・右投左打・170 cm、70 kg

外野手に加え、捕手、内野も守れるユーティリティプレイヤー。高いミート力で広範囲に打ち分けるバッティングが持ち味。ここ1番での勝負強い打撃も光る。春季リーグ戦では逆転サヨナラタイムリーを放った頼れる副将でもある

### 北信越 ● 金沢大学薬理学部



鈴木 大智 (秋田南出身)  
投手・3年・右投右打・178 cm、81 kg

「The ピッチャー」と言えるチームの大黒柱。強靱なメンタルと、恵まれた体格から放たれる重い直球、さらに絶妙なコントロールで打者を打ち取り、相手を封じ込める。凡打の山を築くことができる北信を代表する名ピッチャー。

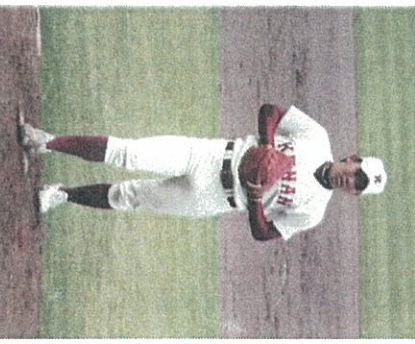
### 東海 ● 中京大学



松浦 直也 (中京大中京出身)  
外野手・2年・右投右打・172 cm、70 kg

大会最多の4連覇を含む8度の全国制覇を誇る中京大。松浦は1年から不動の4番として長打力を発揮し、ポイントゲッターとして活躍。春60回目の優勝に貢献した。俊足、強肩で攻守の要。名門復活のカギは彼の一打にかかっている。

### 関西 ● 甲南大学



香川 知正 (尺誠学園出身)  
投手・4年・右投右打・182 cm、89 kg

ベストナイン5回、本塁打王3回、打点王3回、首位打者2回獲得。投手としてはMAX 145°の直球と多彩な変化球を操る。1年夏に全日本優秀選手。春は打率5割3分3厘、3本塁打16打点、関西大会優勝に導いた「二刀流」選手だ。

### 中国 ● 広島大学医・薬学部



穴見 圭次朗 (天分上野丘出身)  
内野手・3年・右投右打・180 cm、75 kg

広島大学医・薬学部が誇る超攻撃型内野手。恵まれた体格から放たれる打球は目を眩やぼとで、ここぞという時の一撃でこれまで何度かチームを救ってきた。投手としても活躍し、投打でチームを牽引。全国大会での勝利を誓う。

### 四国 ● 徳島文理大学



松田 龍貴 (広島新庄出身)  
捕手・2年・右投右打・176 cm、75 kg

遊撃手も兼任する捕手。力強いバットインングが持ち味で右打ちを意識したコンパクトなバッティングでもでき、キヤッチャー一面では巧みなリードでピッチャーを引っ張る。セカンド打球1.7秒を切る強肩で、相手に盗塁を許さない。

### 九州 ● 九州産業大学



原田 大幹 (如水館出身)  
外野手・4年・右投左打・173 cm、68 kg

3年秋にベストナインを獲得。高校時代に教え込まれた「1点を取るに密な野球」を身上とし、副将として4年ぶり全国大会に導いた。小柄だがミート力に優れ1発も期待できる逸材。スロートアウトの良さなど、秀でた野球センスが光る。